

気まぐれ通信

平成29年6月12日 第82号
発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部

トピックス

デカ玉発見！

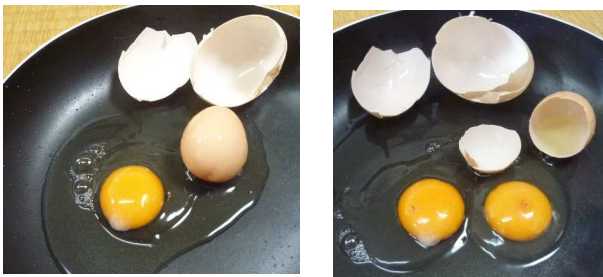
毎日毎日卵を見ているにもかかわらずこれほど大きな鶏卵もめずらしいと思い写真を撮りました。産卵するのに大変だったろうと思います。

重さを量ったら143gで普通サイズのたまごの2倍以上（Mサイズで平均61g）ありました。

長さが8センチ幅が6センチありました。



これを割ってみたら予想通り、卵の中に殻付きの卵が入ってました。その卵は、普通の卵でした。



にわたりのたまごでギネスに載るにはどのくらい重さかということで早速調べてみたら公認の世界最大の鶏卵は、高さ7.9センチ幅6.4センチ重量176gでした。ギネスにはちょっと届きませんでした。

連載エッセイを今号から掲載します。

弊社には、文学部卒のごつい男性がいます。彼の才能をなんとか開花させたいと思い、投稿依頼したところ引き受けてくれました。農場から文壇へ送り出したいものです。

連載エッセイ第1話

商店街のたまご屋さん

こちらはどこにでもある商店街。その商店街の中のどこにでもあるたまご屋さん。いつもの通り今日も今日とてお店番。ちょうどお客さんも途切れがち。そんなときにはふと思い出す、変わったかわいなお客様。あれは確か、ある冬のこと。



途切れたお客様に一息つけばカウンター越しに人の影。よくよく見れば小さなかわいい女の子。近くの幼稚園の制服に大きなリュックを背負っている。肩から掛けたポシェットから、お金取り出し、く

ださいな。お金はM卵3つぶん。これにはうれしくなったたまご屋さん。卵を3つ丁寧に包装しつつ、思うこと。かわいい小さなお客様。その初めてのお買い物。それがウチなら尚嬉しい。笑顔满面、お待たせしました。お客様に卵を渡すたまご屋さん。受け取ったお客様も負けずに笑顔。ありがとでした、と頭を下げるとてちて去り行くお客様。それに手を振るたまご屋さん。

今日も良いことありました。なんだか和むたまご屋さん。だけれど、それを見たママさん達が一斉に顔を見合わせ、頷いて、慌てて何処かに電話を掛けるその事に気付きもしないたまご屋さん。はてさてこれからどうなることか・・・つづく

【編集後記】

我が広島東洋カーブは、順調に星を伸ばし、快調に上位を突っ走ってます。しかしサンフレッチェ広島は、今年は大変厳しい戦いが続き、数年前と逆でアベック優勝の難しさがよくわかります。